

2023年3月期 第2四半期 決算概要

2022年11月10日



パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証プライム)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

2023年3月期 第2四半期 決算ハイライト

全地域で増収を達成するも、原材料・資源価格高騰の影響大

売上	連結	連結売上高は、前年同期比111.0%、21億円増の216億円。
	日本	前年同期比101.2%の69億円。 低調な自動車関連を精密機器関連がカバー。
	中国	前年同期比116.0%の121億円。 自動車関連で好調を維持。
	東南アジア	前年同期比117.2%の9億円。 シンガポール、タイ、ベトナム、マレーシアが好調を維持。
	欧米他	前年同期比118.7%の15億円。 医療関連が好調を維持。
利益		営業利益は、前年同期比86.9%の1,537百万円 経常利益は、前年同期比87.8%の1,524百万円 親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比72.0%の905百万円
ネット資金		四半期純利益の計上等により、期首から285百万円増加。



損益計算書サマリー(2Q比較)

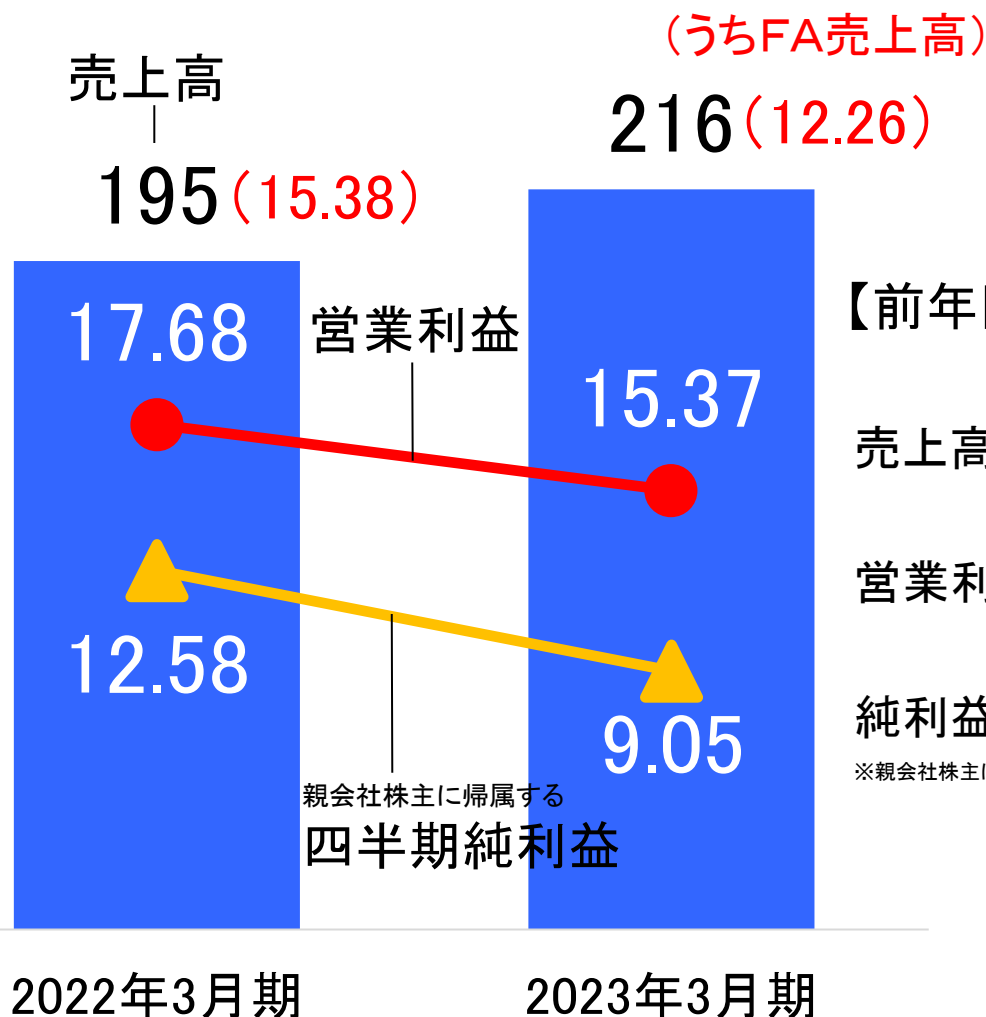
(単位:百万円)

	2022年3月期		2023年3月期		前年同期差	前年同期比
売上高	19,523		21,665		2,142	111.0%
営業利益	9.1%	1,768	7.1%	1,537	▲231	86.9%
経常利益	8.9%	1,736	7.0%	1,524	▲211	87.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6.4%	1,258	4.2%	905	▲352	72.0%



売上高と利益(2Q比較)

(単位: 億円)



【前年同期比較】

売上高	21	億	42	百万円	増収
営業利益	2	億	31	百万円	減益
純利益	3	億	52	百万円	減益

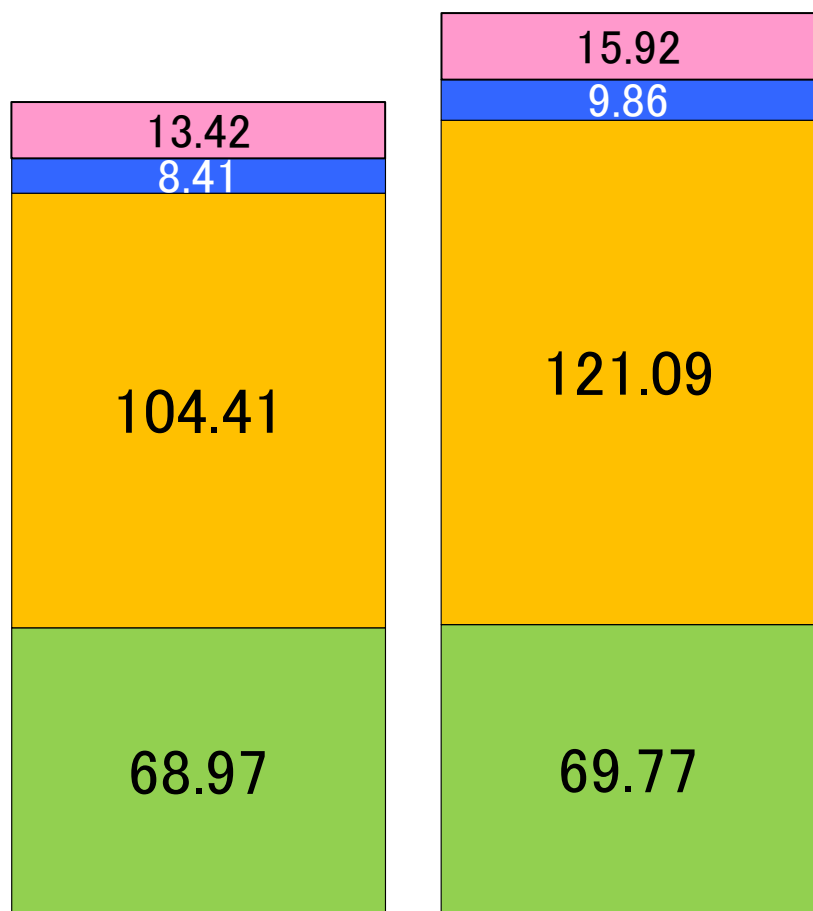
※親会社株主に帰属する四半期純利益



地域別売上高(2Q比較)

(単位: 億円)

為替影響はあるが、全ての地域において増収を達成



欧米他 医療関連が堅調を維持

東南アジア 増収要素はシンガポール、タイ、ベトナム、マレーシアが牽引

中国 自動車関連が好調維持

日本 精密機器関連、食品・医療関連が自動車関連売上の低迷をカバー

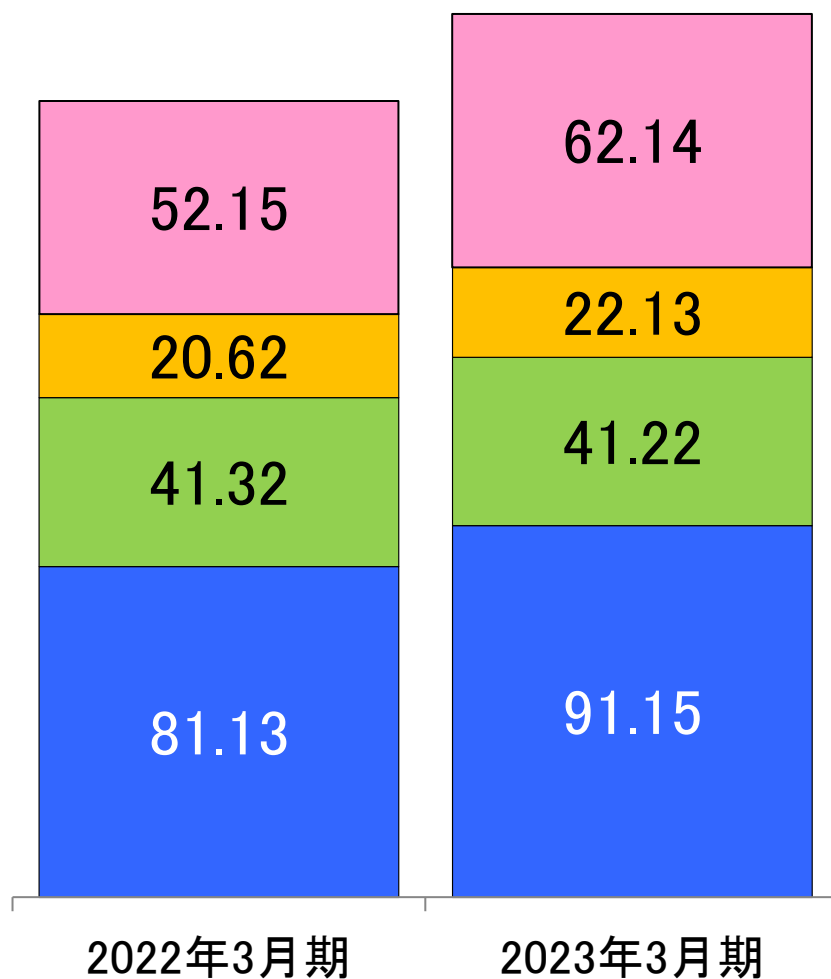
2022年3月期

2023年3月期



業種別売上高(2Q比較)

(単位: 億円)



電子部品・半導体関連が停滞
自動車関連は中国で好調維持

その他 食品・医療関連が復調気配

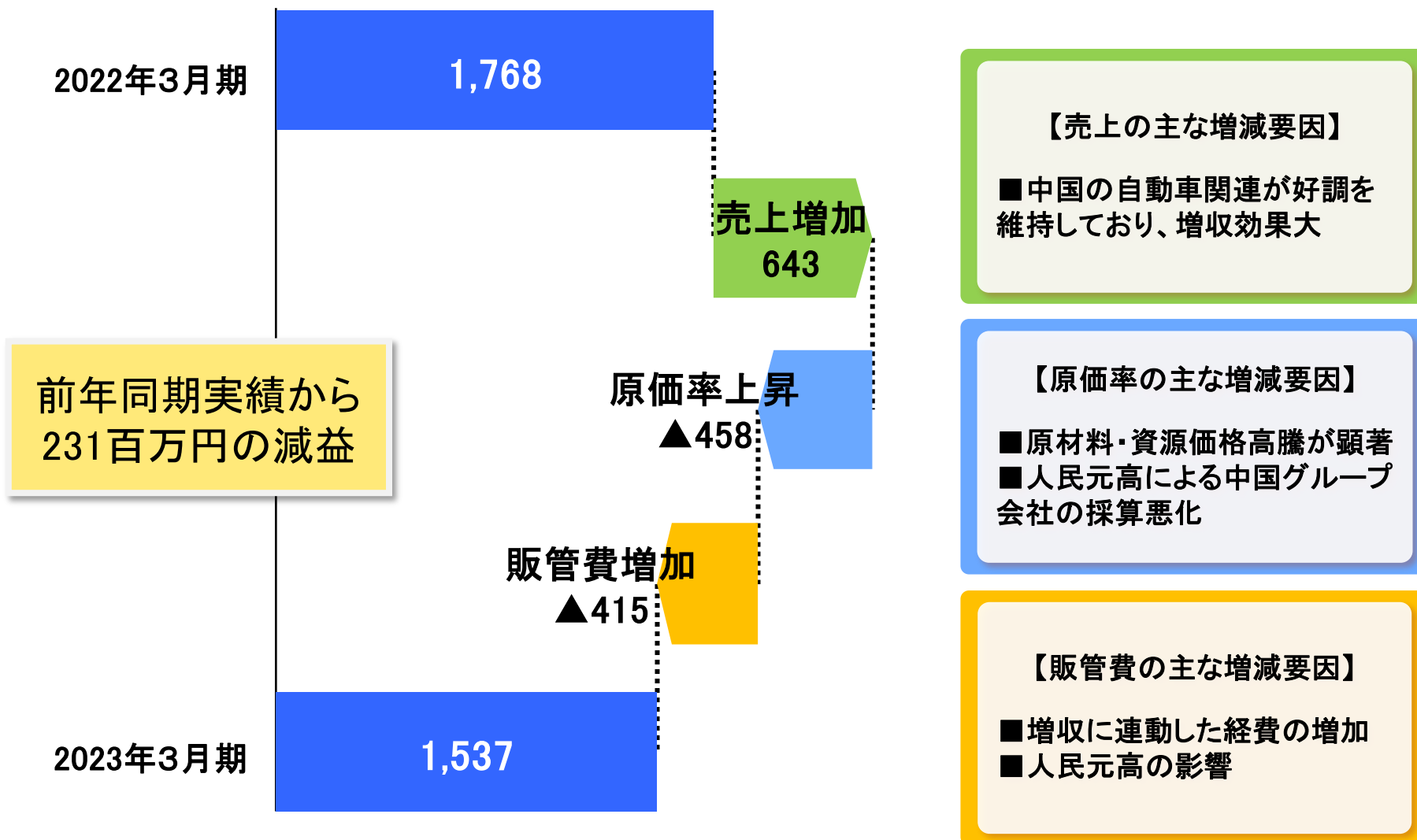
家電・精密機器 精密機器関連が好調維持

電子部品・半導体 半導体不足による部品生産の鈍化を起因として停滞

自動車 日本は低調だが、中国は好調維持

営業利益増減(2Q比較)

(単位: 億円)



貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2022年3月期末	2023年3月期 第2四半期末	比較増減
総資産	28,774	32,449	3,675
総負債	12,466	13,178	711
うち有利子負債	3,820	3,808	▲11
純資産	16,307	19,271	2,964
ネット資金	995	1,281	285
自己資本比率	56.5%	59.2%	2.7pt

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	613	699	85
減価償却費(無形固定資産含む)	470	554	84



2023年3月期 通期の業績予想を前回予想から据え置き

(単位:百万円)

	2022年3月期 (実績)	2023年3月期 連結累計期間		
		通期予想 (2022/8/9公表)	前期差	前期比
売上高	39,358	44,300	4,941	112.6%
営業利益	7.7% 3,041	7.0% 3,100	58	101.9%
経常利益	7.6% 3,007	6.9% 3,070	62	102.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5.2% 2,040	4.2% 1,850	▲191	90.7%
自己資本利益率 (ROE)	14.2%	10.3%	▲3.9pt	—

2023年3月期
配当予想

13円 = 中間 6.50円 + 期末 6.50円(予定)



今後の成長に向けたトピックス



今後の成長に向けたトピックス

1

パンチグループの強み

2

FA領域の特注品での販売拡大

3

積層3Dプリンターに変わる接合技術

4

3D計測パートナーズ

5

展示会情報

まとめ

パンチスピリット ～創業者精神への回帰～

チャレンジ

未知の領域にチャレンジすることを通じて、
自己の成長と社会への貢献を果たす

創意工夫

あらゆる仕事に創意工夫を凝らし、
夢の実現に向けて粘り強く困難を克服していく

自由闊達

一人ひとりの個性や多様性を尊重し、
自由闊達で活力にあふれた職場を共につくる

日本・中国

特注金型部品シェア1位 ※当社推計



カタログ品

汎用性の高い標準製品を
豊富にラインナップ

スピーディな
ソリューション

特注品

カスタムニーズにも
柔軟に対応



一気通貫の生産体制
2,000台以上の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制
きめ細かな対応・提案力

高い技術力

創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発

パンチスピリット

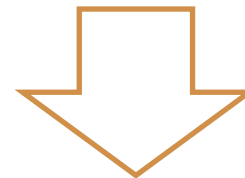
チャレンジ

創意工夫

自由闊達

特注品製造ノウハウの
更なる成長

特注金型部品シェア1位
日本・中国で確立



FA領域の“特注品”へ進出
FA装置分野へと新たな成長

中期経営計画「バリュークリエーション2024」骨子

自動化・省人化需要を新たな成長エンジンに
～ 常に「お客様の第一候補」であり続ける ～

はげやぶれ!!



パンチスピリット

ものづくり現場での自動化・省人化需要の高まりに「**FA領域の“特注品”**」で応える

※FAとは、ファクトリーオートメーション (Factory Automation) の略称

新技術・新サービスの持続的な開発により、金型部品事業での確固たる地位を確立する

SDGsや**ESG**による「社会課題の解決」を通じて企業価値向上を図る



FA領域の“特注品”の販売拡大

金型部品の特注品で培った技術力を新・事業領域であるFA領域の“特注品”に応用

株式会社 **ASCe**



(株)ASCeがパンチグループに加わり、
装置を組み込んだ高度な製品までの
販売拡大を目指す

- 国内FA事業推進プロジェクト発足
- ・販売戦略の立案推進
- ・FA協力工場の整備・開拓

現状

今後



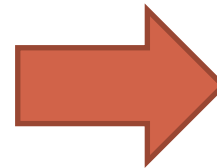
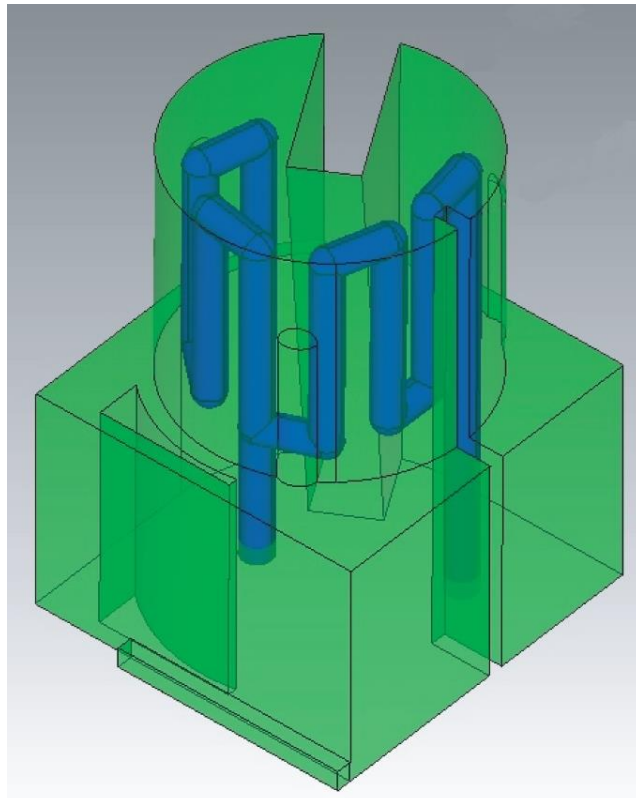
調味液を高圧噴射して食材に注入



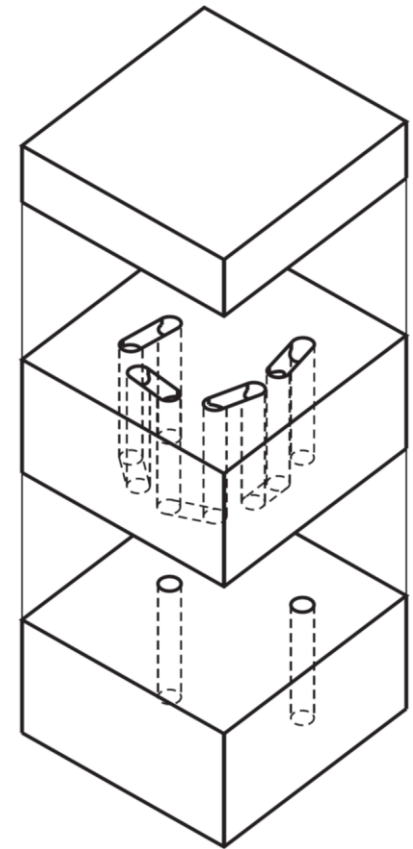
積層3Dプリンタに代わる接合技術P-Bas®(商標取得)

P-Basで制作する理想的な冷却水管の特注金型部品

金属3Dプリンタでの製作例

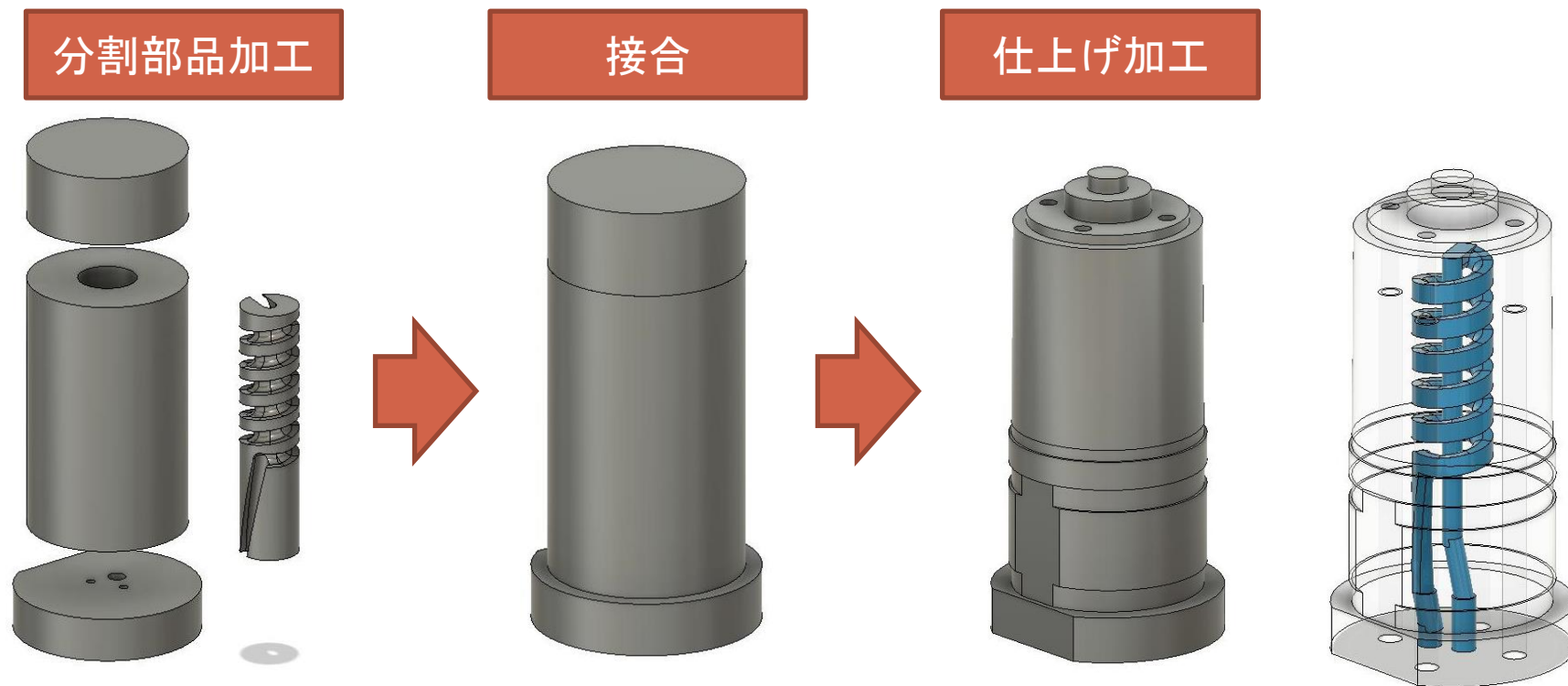


分割加工・接合により
同様の水管が製作可能



ダイカスト金型用コアピンのP-Bas® 試作例

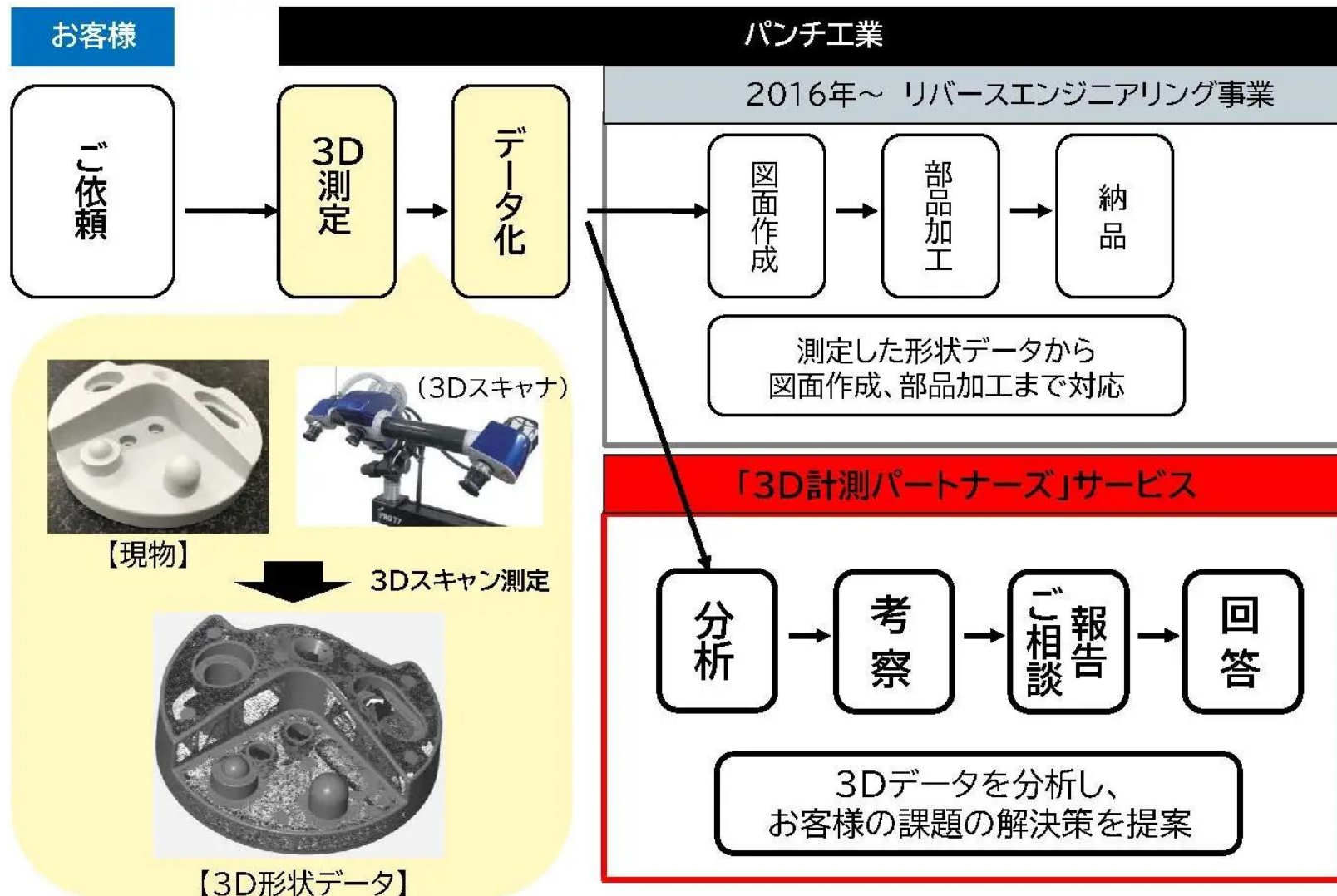
▶ 内部に螺旋水管を配置



接合する前の溝部に
防錆処理を施工

3D計測パートナーズ

特設ページ <https://www.3dm-partners.com/>



主な展示会への出展情報

期間			開催地		展示会
3/15	～	9/16	日本	オンライン	インターモールドオンライン2022
10/19	～	10/26	ドイツ	デュッセルドルフ	国際プラスチック・ゴム産業展
10/21	～	10/22	日本	羽田	おおた研究・開発フェア
10/25	～	10/28	ドイツ	ハノーヴァー	EuroBLECH 2022(ユーロブレッチ)
12/1	～	12/2	日本	浜松町	ものづくりパートナーフォーラム2022



プラスチック・ゴム産業展



EuroBLECH 2022



おおた研究・開発フェア



まとめ

社内に息づく、「チャレンジ」「創意工夫」「自由闊達」のパンチスピリット

強み

パンチスピリット

結果

特注金型部品
シェア1位

高い技術力

今後

FA特注
分野進出

P-Bas

3D計測
パートナーズ

新たな
成長分野

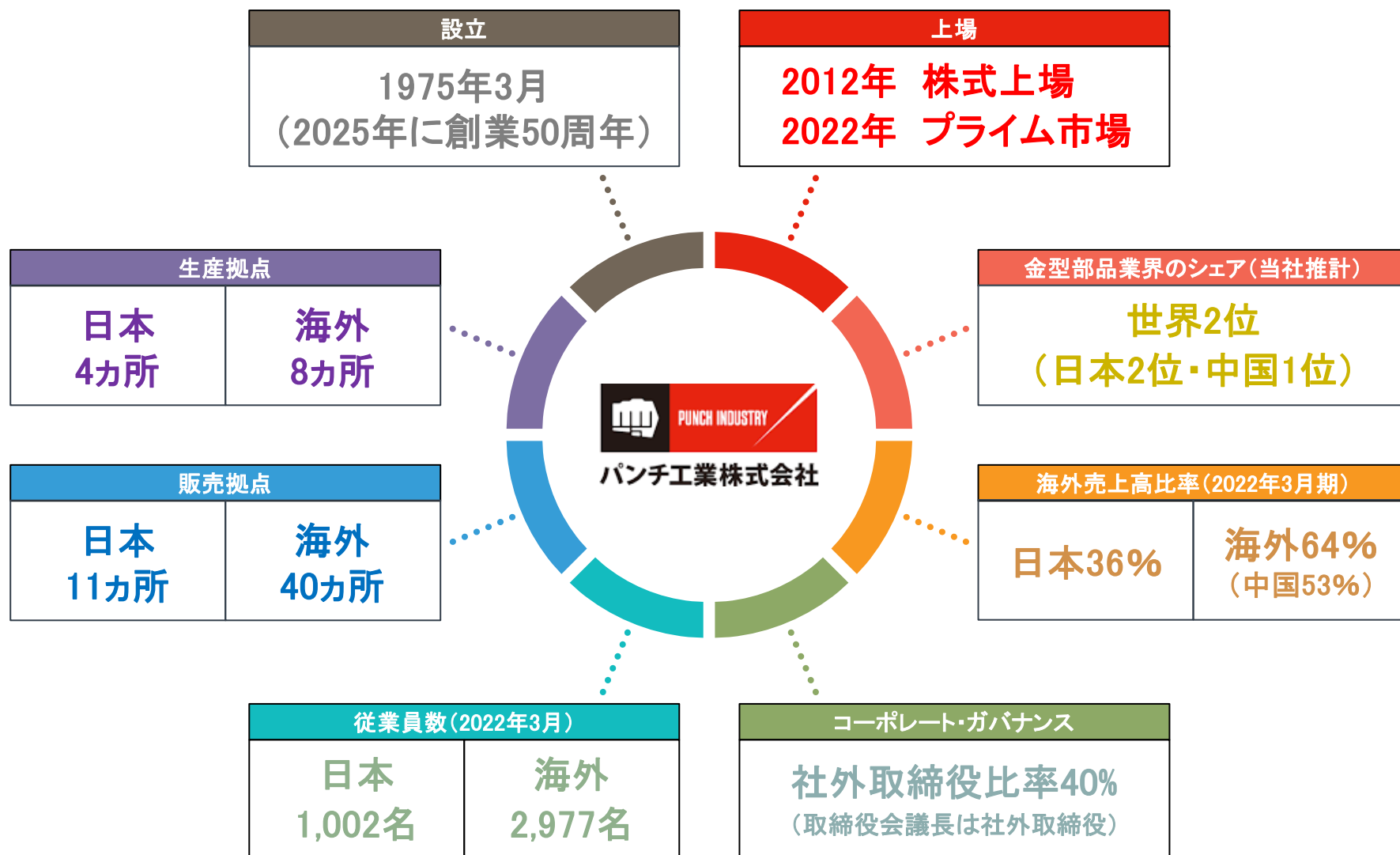
既存技術
の深掘



参考資料



ひと目でわかるパンチグループ



マネジメント体制

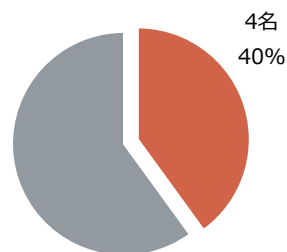
代表取締役社長プロフィール

氏名及び生年月日	職歴
 森久保 哲司 (1977年1月22日)	2003年5月 当社入社
	2005年2月 盤起工業(大連)有限公司
	2012年11月 バリュー・クリエーション推進室長
	2013年4月 経営企画室長
	2015年4月 PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.
	2016年5月 執行役員
	2018年6月 取締役 上席執行役員 経営戦略統括
	2019年4月 最高戦略責任者 グループ事業統括
	2019年6月 代表取締役(現任) 副社長執行役員
	2019年11月 社長執行役員 最高経営責任者 グループ経営統括(現任)

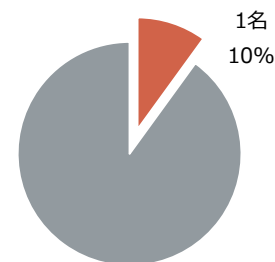
取締役体制

取締役	代表取締役社長執行役員 最高経営責任者(CEO)	森久保 哲司
	取締役常務執行役員 最高執行責任者(COO/営業)	真田 保弘
	取締役上席執行役員 最高財務責任者(CFO)	村田 隆夫
	取締役上席執行役員 最高執行責任者(COO/製造)	高梨 晃
	取締役	杉田 進
	社外取締役 取締役会議長	高辻 成彦
取締役 (監査等委員)	社外取締役	大里 真理子
	取締役(監査等委員)	河野 稔
	社外取締役(監査等委員)	松江 頼篤
	社外取締役(監査等委員)	鈴木 智雄

社外取締役比率



女性取締役比率

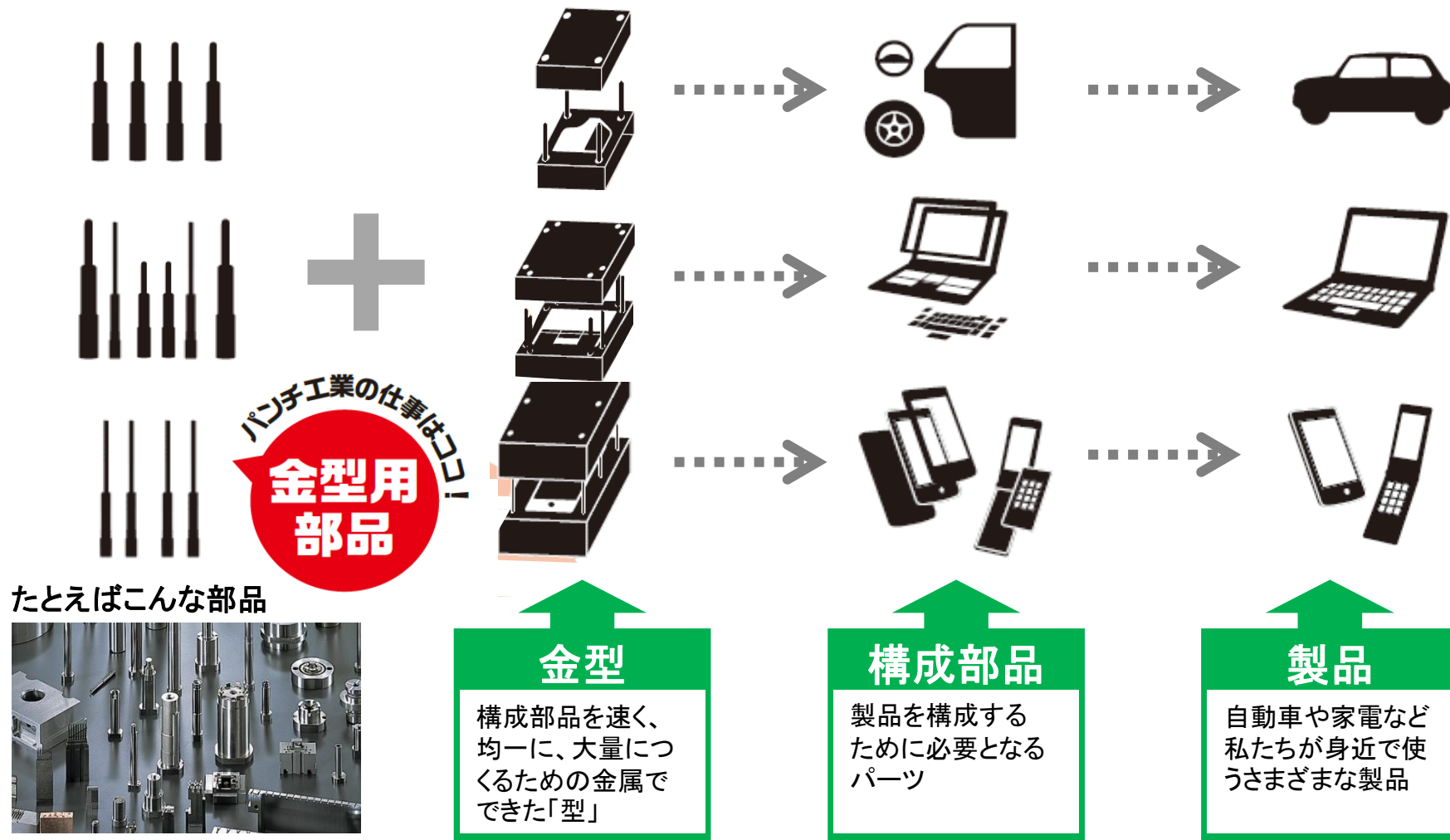


パンチグループ沿革



事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密金型部品の製造・販売
皆様の豊かな生活を支える「縁の下の力持ち」



パンチグループの主要製品

射出成型金型等のプラスチック金型部品とプレス加工金型等のプレス金型部品
ものづくりの上流から下流までお取引

プラスチック金型部品

プラスチック金型は、スマートフォンやデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられています。加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成形機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られます。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



主要な製品

エジェクタピン

射出成形された成形品を金型そのものから離し、突き出すための部品（押し出しピン）です。



主要な製品

コアピン

製品部を成形するのに使用し、コアピンの形が転写されます。製品部の貫通させた部分を成形したり、製品部に彫刻をします。

プレス金型部品

プレス機（上下運動する機械）に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料となる金属の鋼板を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品ができて上がります。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



主要な製品

パンチ

プレス金型に組込まれる代表的な部品で、金属板に穴をあけたり、形状を転写するための部品です。当社の社名はこのパンチに由来しています。



主要な製品

ホルダーガイドポスト関連

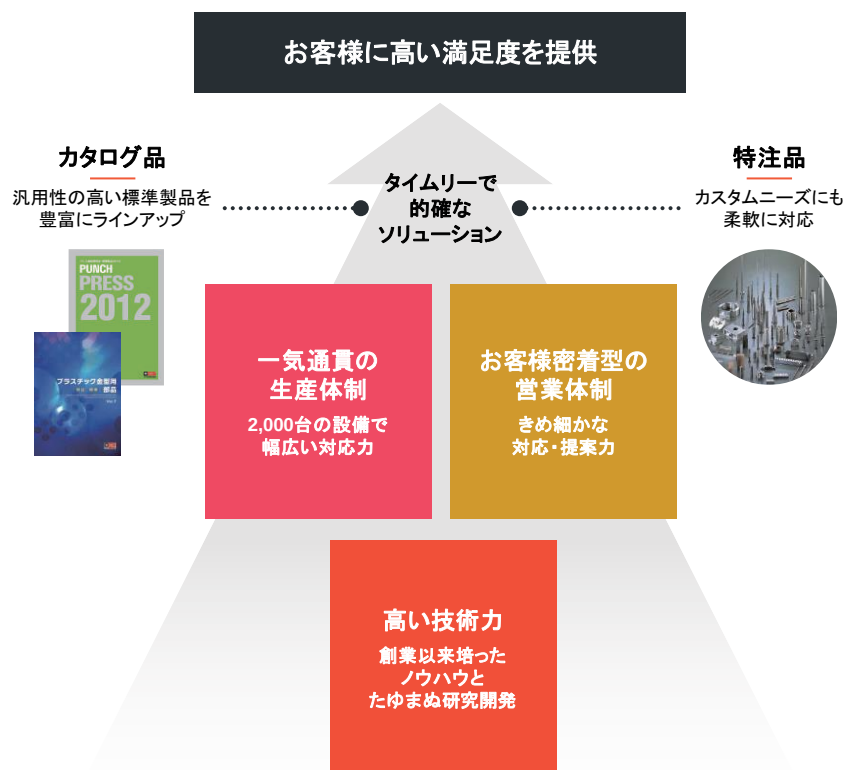
上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品です。



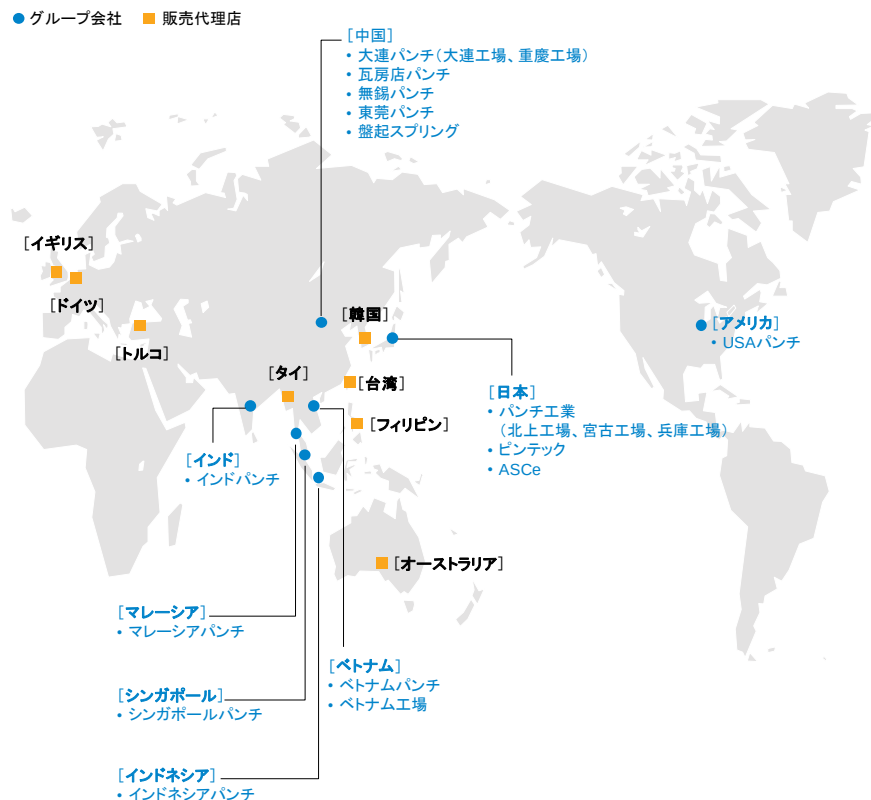
パンチグループの強みとネットワーク

汎用性の高いカタログ品を豊富にラインアップ & カスタムニーズにも対応する特注品
世界の「ものづくり」を支える

パンチグループの強み

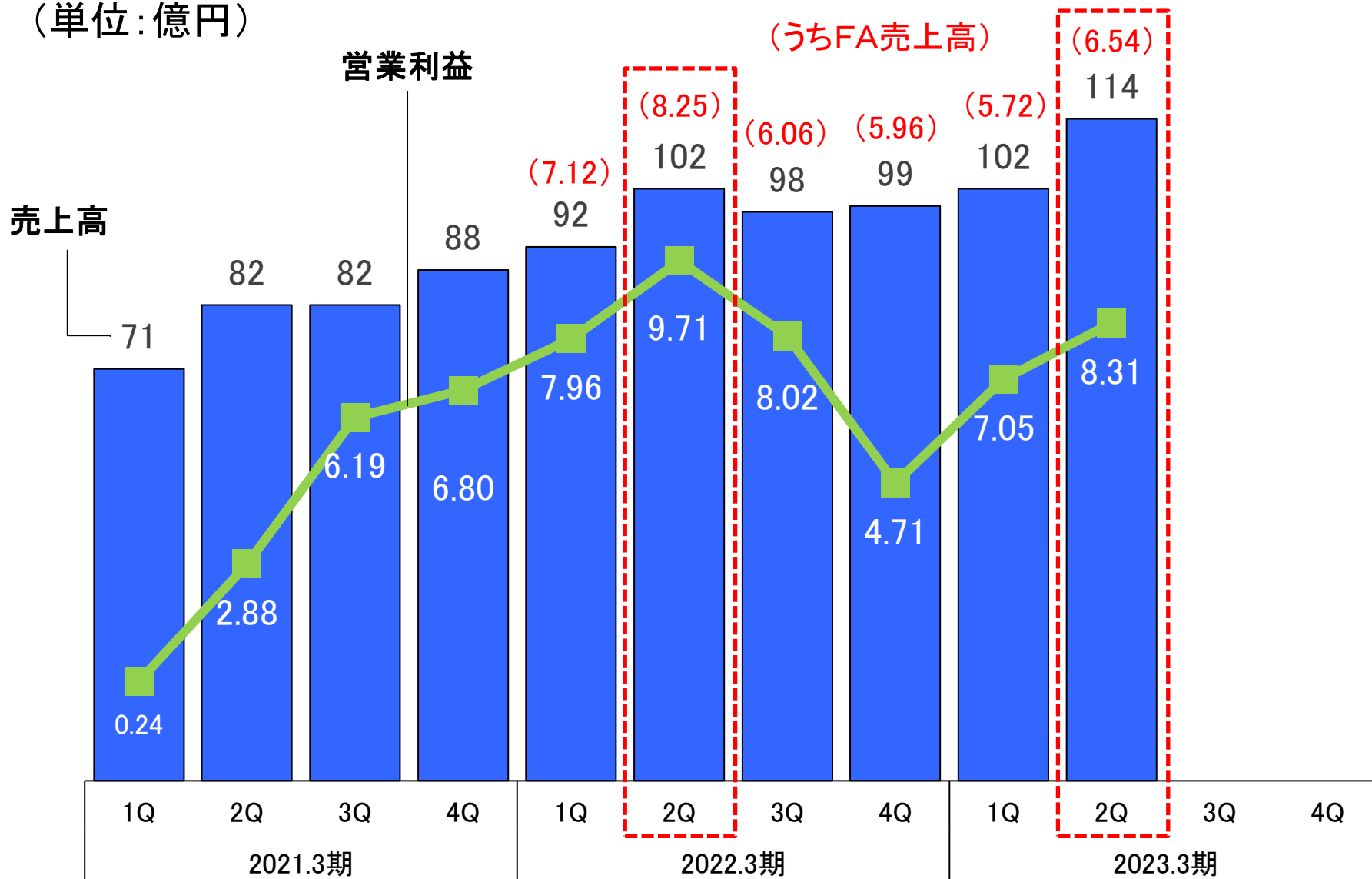


パンチグループのネットワーク



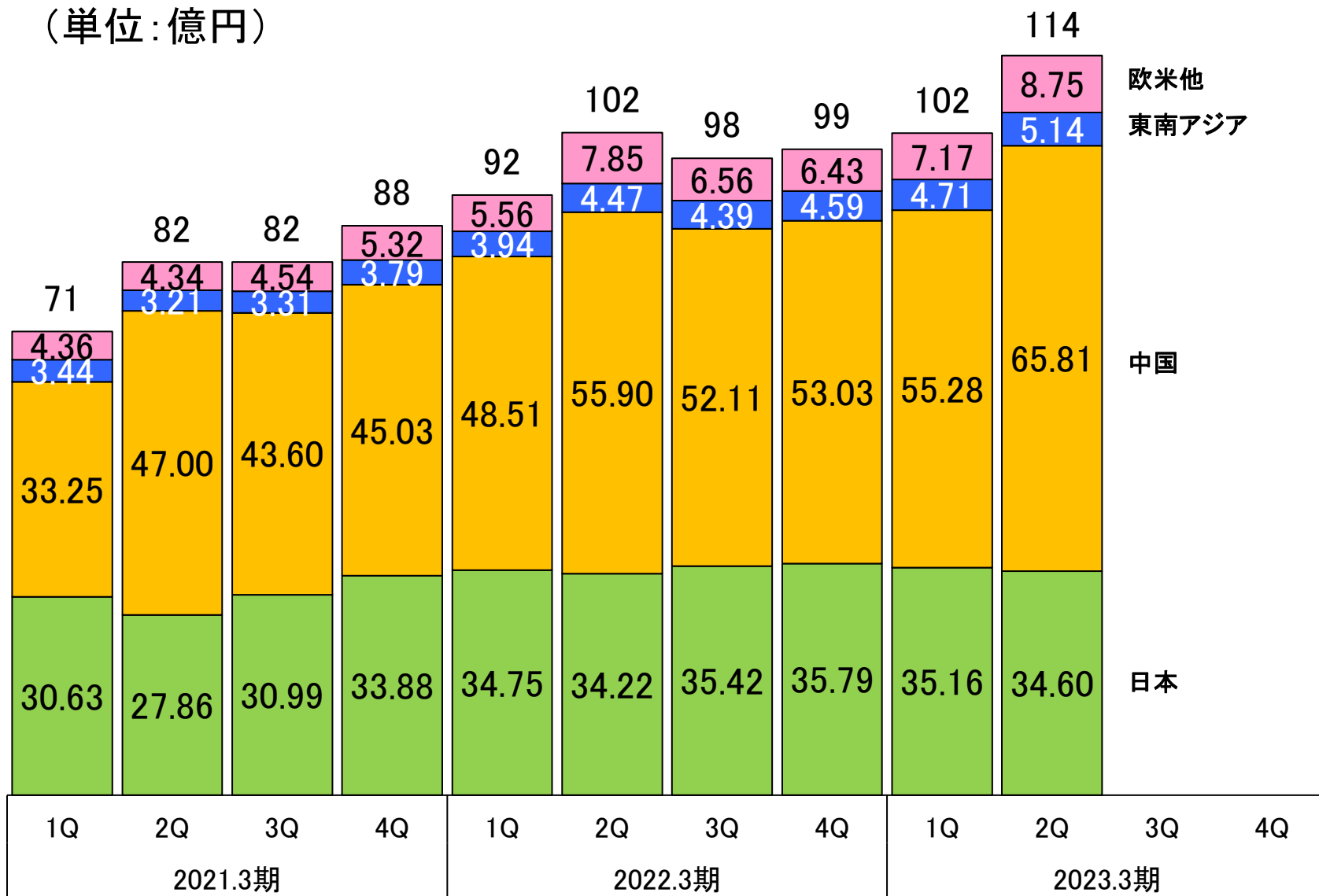
売上高と営業利益の推移

(単位: 億円)



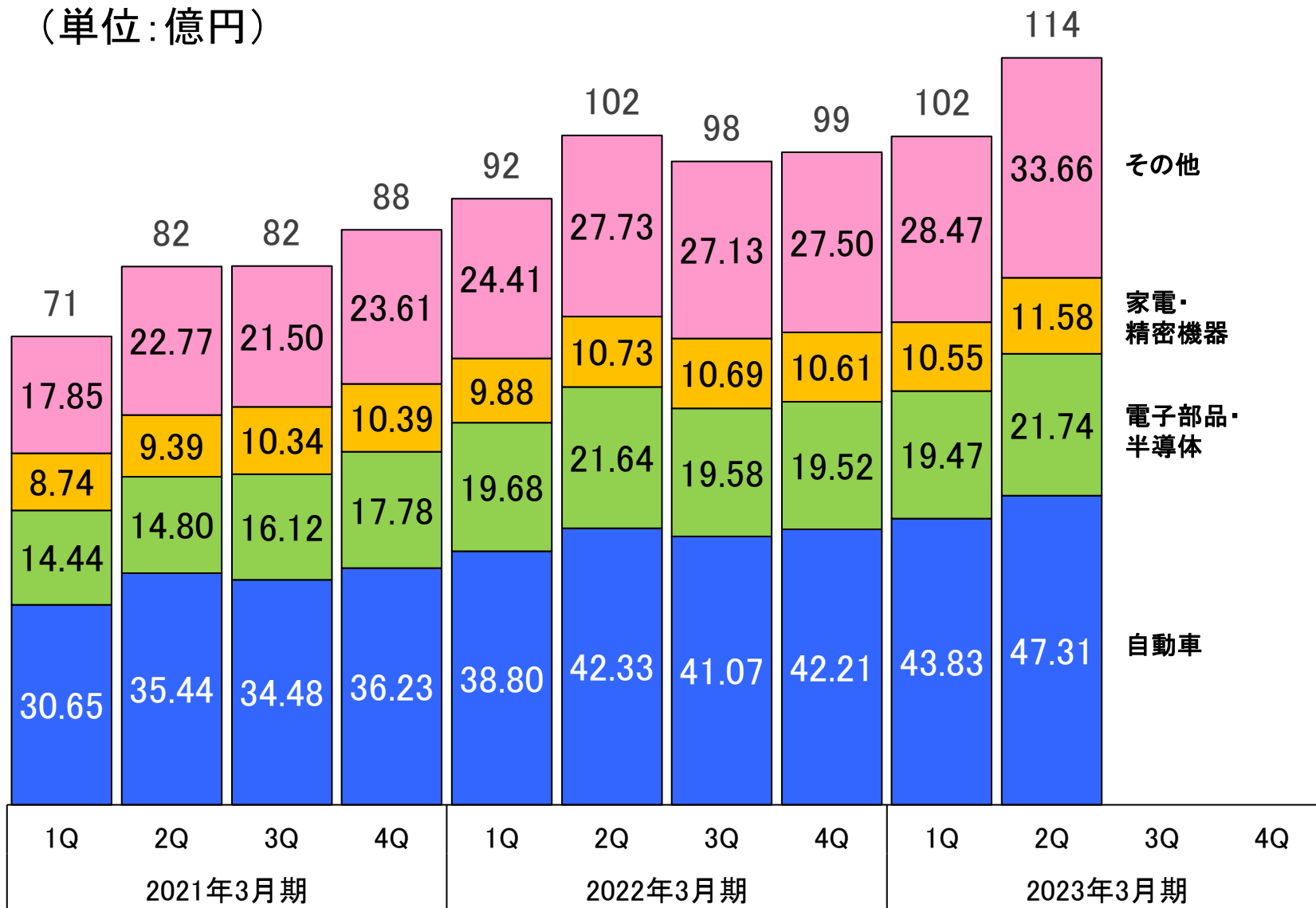
地域別売上高

(単位: 億円)



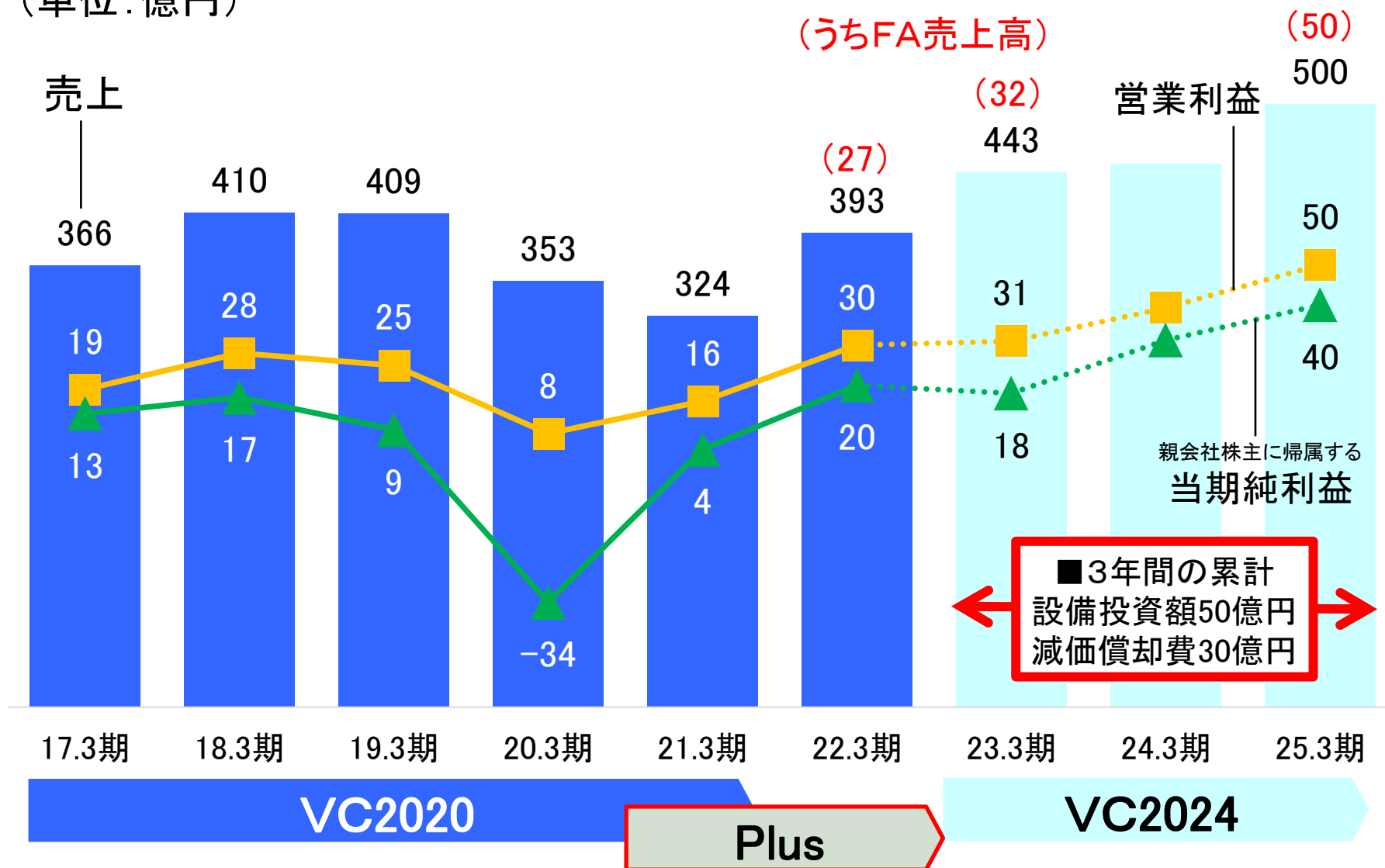
業種別売上高

(単位: 億円)



中期経営計画「VC2024」の経営数値目標

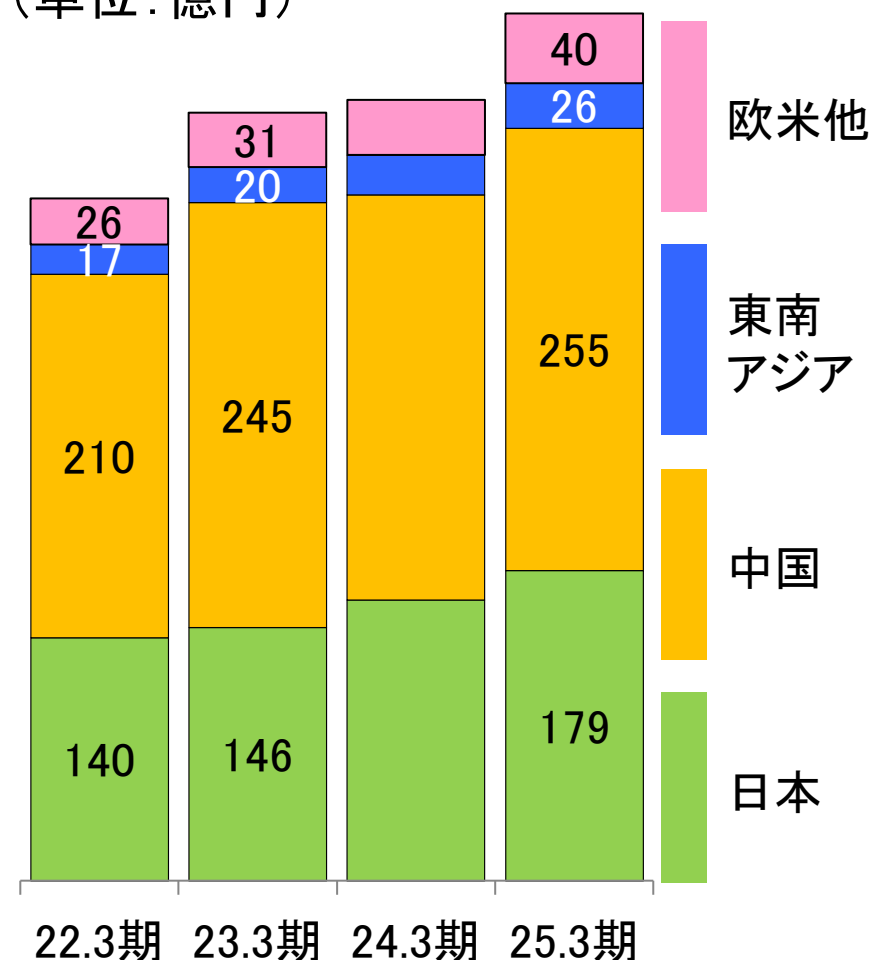
(単位: 億円)



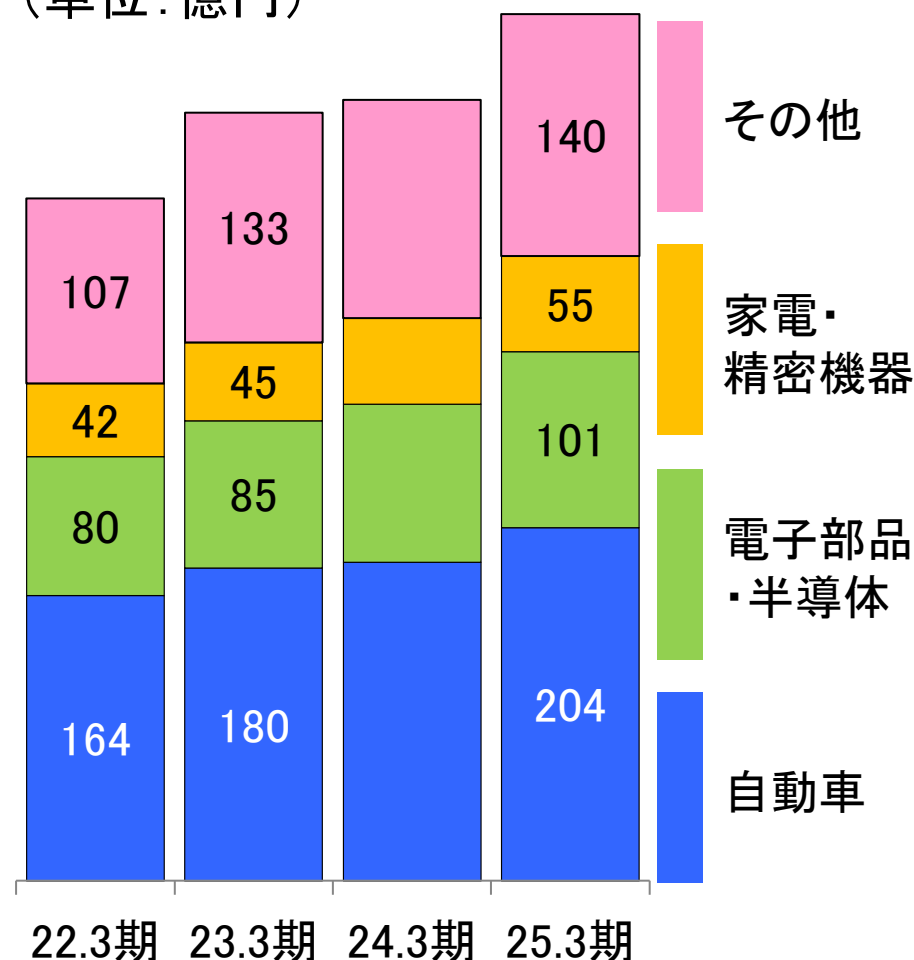
VC2024の地域別・業種別売上の数値目標

「VC2024」は、2022～2024年度（2023年3月期～2025年3月期）

（単位：億円）



（単位：億円）



流通株式時価総額の増大に向けて

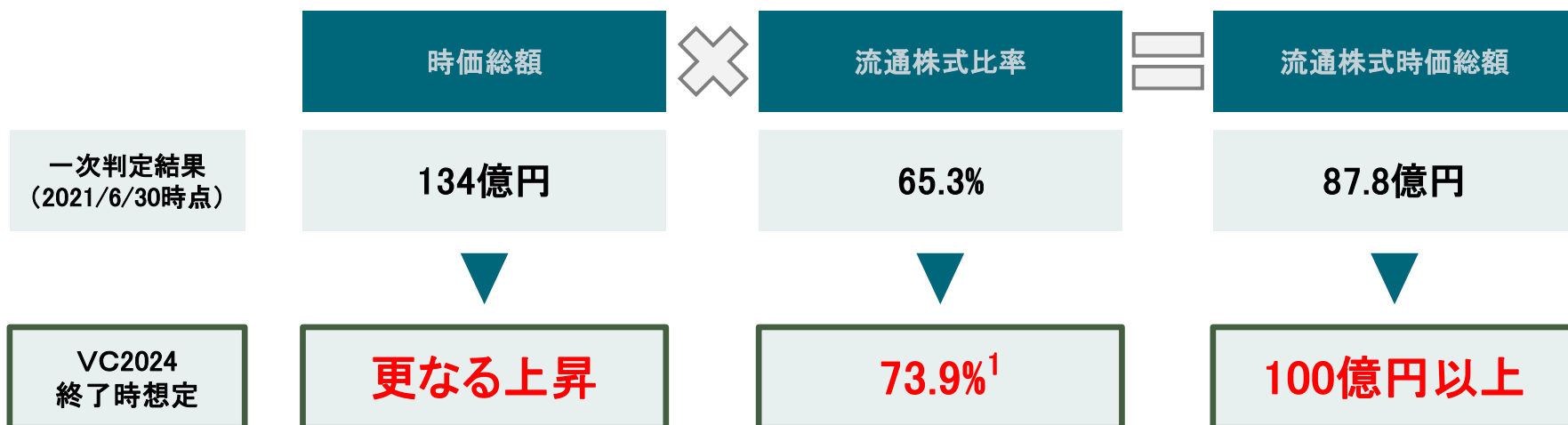
企業価値向上のための施策を通じた株価・時価総額上昇を通じ、プライム市場の上場維持基準である流通株式時価総額100億円の達成・及び更なる上昇を目指す

流通株式時価総額上昇に向けた課題

企業価値向上施策を通じた株価上昇
ROIC経営による「稼ぐ力」の強化
成長投資と安定配当を最適バランスで実施

課題解決に向けた基本方針

成長に向けた設備投資の実施
DX推進での業績向上と働き方改革
新技術・新製品の持続的な開発



1. 第三者割当による行使価額修正条項付第4回新株予約権の発行にて2,500,000株の新株を発行し、その全てが流通株式に該当したと仮定





【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 経営戦略室 広報IR課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。